柿本人麿之御前

初生逆婆世界朝露
四苦滅　念佛

三世不可得之道理也
白骨ハ父ノ思ヒ赤肉ハ母ノ恩也

父母
金剛界大日如来
慶長　年　月　七日

二尾　白牛
鮒

番匠童ハ歳ハ廿五ヶ年ニ成ル
門弟　初代乃ハ
法古流南流対味
はろの花し代乃語く梅
らてくゆ　ふ古を初心の人
道よ入れ門なりてのちはく
童童しゆまろ　ひろへふもま
初代の人乃毎をになる様乃
事あるくて和法師よたけ〇
ゆりしに童有仏者尾ナ二句
作りおろ花ろ　ろ毛ふ鬼法
紙をてかたよ出ちく三句の
ゆしあ対味とまるしゆん
毎め場補し作りぬ

元禄四年未　月日
洛下　書林　栄松軒

一　おの付の事
二　付様三句く分れのる
三　面八句の事
四　當流変句
五　面八句ふ塩ゐる
六　裏表月花ものふの事
七　奇仙の付
八　四十四の付
九　恵の詞并沈紙紙数叢書常述懐
十　云姫れる男付句云の事
十一　変句切字ぬれ事并紙烟の事
十二　和漢の事并句数ぬる
十三　人倫分并居ふ神用山歌ゐ色
十四　和分の詞
十五　四季の詞
十六　百韻懐紙出式
十七　淋落漢和の付式付懐紙式
十八　奇仙書付
十九　狂聴形式　○ちりひ大全

[illegible]

[illegible]

前句付乃事

[illegible]

[illegible]

付句

月ゆゝしと二人ゐる碁とうつ所

[illegible]

碁乃付やうゝおろうとゐる

碁乃ゐる句

又中法宗因風乃句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大指や小指の[illegible]

[illegible]

又切[illegible]

更科の月ゆへ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

傘（かさ）借りまでいかりぬ雨

[illegible]

大方もどりたるの[illegible]

[illegible]

のてんまるく通ひいろ

十三　分毒と花世の末うり置えて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十三　ひやくしゝ風おりしろ酒乳まで

[illegible]

秋のはつ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雛乃屋のとうろう雛つき

おなじ所の酒屋の主人たちかきひとり
のなまぶよして付こうおかのそひ
ふ屋のかわりきに付て祝もちのあ
のまどうわんみとわんしろさ海せ
浮世物語より世ばなもの世なしとも吹
ふたくひあこ入し

人乃身れ形ひつひきとにくせ
家八六ち数付おこ人の身れ事とをね
こつひけをにくせ吹くふもなるよ雛の
新まて雛といやこにくせしにかくせの
字まて付こう

債主と恵乃奇ちう屋ろ
人の形ひつひきとなしにくせふ
てこ花にの見ふいるもれいこてよこ出
もと奇ハすの形こしひふんを奇ハのの
の字まて付こうとうもちてっも字ふ、
恵奉のにしふて、ちの物よ恵
やうにつうふ屋一家ふくすの形な

あふよ見ひてつちきと李徳屋
しひ付ふとちの事金也
打ぬもの鎧甲れちしくし
打つけとふこまのんうとれ打に
もふ物てうのしきなしくしなる奇
うのと薄り落こと四地ひんてうおハ兵
くしき武士ものまてし後出に奇
ち屋こうきこと

児やは師や方丈八撮
恵八大事の乱ちを義武者ふくく
軍おなしと和尚ちり物面ちむり
を面しお事なしに四んは師屋の
らうふくこハりしそたりしべし

三 面八句乃しつる

殺句のる貴ハ秀句ふひけと
とちくちる形ちと吟ち家ふ
ふくちるこしこハおの句酒とおの
と付句こひ句ふしまち物ふべし
を句乃内ふさとあこ形家乱なら

い意流の発句あり

四　京氣仙人三ツ発句

田植やうたの花ふる人　一晶

堤三ツ花ふる植うゑ　信徳

池の魚乃揺初ゆゑ　紙黒

春雨ふりつゝ花ふる　賀泉

ところ〳〵うゑ発句

加茂鶴うて法師ふるの人揺ぎ　和及

春風吹ふ男世ゝ　江戸　邑蕉

鶯や二ツ世ゝ　湖春

蝶咲く屋敷ひろ場根　江戸　如儿

ゆ花ふる　和及

ろ部発句

古池や蛙とびこむ水の音　乃

名乃付ふ和ゆ山揺

発句と呼ふ部の発句

三ツ蛙ハ何揺ゝ乃ゝ

ふ部ふ上ゝ名人の上ふ

格初ふのゝふ部ふ

いまし句り右三ツの部

古流八芭蕉乃ゝ新風

名乃ひあれ今ハ大概ハ発句ゝ

乳部れば京乳ゆゝ

ゝ文ふハゝく発句

ゝ芭ふ古ハ京近ゝ

芭ふ文ふ

発家ゝ

ゝ芭ふ

ゝ芭ふ三てどゝ

ふゝらんゝ

ふ部ふ

ふ部ふ

ふ部ふ

ふたるるゆたれ九月九日のうち中に
位まで申すがうし只一人てどらん
とあ三の間ゆ申せあ物とんぬべあり
申白め　古代らの申白ぶりこうい
かろくとも法に付おいうすくも
一白ともろくとろて申てうりこうあり
とあもるべくいとあかいかのくも
六白月　六白月さみこ細あたた
面のうちふれどうもやうこうこう
くとも

七白月　殺白殺月三月あくい
法月の常産に秋乃月ろべ
い絶の春乃月もろうかくと

八白月　七白めと月あうう合
あれ春月ちもわうこれ月と
いふあり明あ申くいせあ
白八白絶事　殺　殺常　逆情　紙
紙　天蓋　若不　古人の名　月名
月字　祈紙ゆくも　比流　大黒　殺
祈ゆ殺ゆと文殺白ふ祈紙天蓋

裏十四白十三白ゆ申殺の裏産
又十白め紙月秋乃月ありとも
秋乃春ゆとも春乃月ありとも
ともあよ秋の白月もとびくこ白と
ろろくこうれうあふ月出うう
びうしれふしび出ろれうう
紙上殺の裏十三白ゆ
白ろ付殺の白紙ちくこまふてうし上
といふ又び出殺ろおまこの事。
ゆ出そむとび三白ちふ殺と
ちろ紙いもの出を点丸独吟ゆ
まくろうかうで席ふのでこて独
ふ乃ゆ法ありそ産れ春西上ろ
あうしでいゆあ
三乃裏　十三白ゆ紙月の産もおゆく
ともれいうし
二乃裏十四白　紙裏十四白の法月ゆ
三乃裏裏　右月ゆの
若ゆ乃裏十四白月裏八白ち
若殺乃裏ふ月ゆあ七ふ白殺乃

[illegible]

十 [illegible]乃仕様

[illegible]十二匁[illegible]十二匁[illegible]十二匁[illegible]
[illegible]三十六匁[illegible]
十一匁[illegible]月[illegible]乃[illegible]裏
[illegible]月[illegible]裏
[illegible]乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

町乃泊　野部

門竹のあり　ひとり　ひとり

姫　紅のあり　やさ姫　不姫　侍　姫入

舞入　牛　とぐろ　舞　とぐろ　舞　妻　ひと

女　やさ女　ぞ女　ぞ　とぐろ　髪　とぐろ　女

衣く　ぬ云　かよ云　さくめ云

夏　伽羅　紫の　ふ　ひとり

枕あり　二つ枕　枕　ひと　ひと

夏　夏の侍　夏　ひと　ひと

夏　夏　夏　門立

人間　人間の実　人間

神と行ろ　神　紙の対へ

かこ門　えび　名の川　名の

みくれん　書

妹せこ　結書　結　結日　結ぶ　氏結

とり計　とも　知と　湯　乃濃

[illegible]の付　石はしら　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　坊主[illegible]　ひじ[illegible]

[illegible]　出雲[illegible]

[illegible]　俳諧[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

聖人上人和尚長老宗匠
行業阿闍梨伝法灌頂
法眼法橋検校頭役
山伏修験宗門人
堂天蓋之経論の名教若不書之
つまびらかにあらさるべし

○ 速懸乃河

清和帝の
御宇の
神
世とのくれ
世とうつる
其人
原高原
大方
神
元命
性人
実人
病苦乃きはめ
速懸乃白髪
速懸乃かきとそむく白のまま
男の様にうたれ
人乃まこと様ねうれ
人乃
世代
我世
とうじたる人
乃れなる
よしなふ
乃
又
乃
我
人乃
乃
これ乃
ひとり
とうとう
中
様
乃
乃
乃

○ 急傷

あぶらの
紀の里
云帯の煙
古松

[illegible]

十 去 濁乃うゑ

二句去 人伽 [illegible] 木と竹 [illegible]

[illegible]

三句去 山 [illegible]

[illegible]

十一 去 濁句乃切字の事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紙地のみ字は什こまりて地紙の脇
は色さしうん紫にうん紫にうん紫
地乃みゝ一耳みゝ三字は而と結ぶ
いつゝもあるべし
紙地乃みゝ字は結さまりくるみ字と
て色はうすれいろみ何のそ色無
れし数白ふふさうひ何のそ色無
ろさりとろろもくさへいろ桐の葉
白ふ大ろろべかりべたい山あもぬ
ろ枝あり時の山奥うぐくちろ
ろべし紙いろかこれよかそくへ
一字書弘二字書弘二字書以下百歌の
紙結ふはとろべうろ
和漢乃ろ
太ろと紙猶乃法と出ろべし
和漢とろれあるとやくかざうろん紙
漢乃対よ玉六句ふ平及十
乗地字まふ鮮枝和漢ふ連歌
作不の句ふ出ろ漢
美象用ろもろ二句の句
いづもあり
入歌乃字はと新の漢字かろす
いろうろもとろべし紙方象
乃ろふ和漢夫拳句
と漢ろんぬくうろ漢和と申べ
和とあるも和漢ろ漢ふ歌字
と用べし漢和と申べ漢ふれ
歌もあり

句枝乃ろ

表秋い二句ろ又句ぬもつぐ
変名ろ紙猶ろ桐山枝
みろ居不和ろふい一句ふそもく
ろかれ又三句もそもつぐろ
京い二句ろ紙又句ふそもつぐへ
人倫変紙猶ろ桐山枝
乃居居不合句ふ変紙枝
四ろ京い二句ふそも二句ふそ

あげる　表状たみ一ぱいもくらいの
ど二句作ってください

人倫分

髪師　結髪師。付髪師の略。人倫の大きく人倫と云ふ。
髪のあり。伯示。番頭。ぐらい。
塗師。漆塗。山繭。海繭。
職人。人倫のあり。
作人。
月のあり。月花の友。
尾。あり。
旅宿。
大夫。
ひとり。

地人倫分

六親。人形。
代皮。大工。月と友。花と友。
百姓。同代。同付。勢持。大勢
俵。
くんそく。
居所衆の分
居所用の分
隣

農人。
高人。
職人。
上人。
傳人。

もぐれ。さくみ。うれなの

山類部の分　山岑。嶽。峯。洞。沮。坂。石橋。坂石橋。

同用の分　酒。炭。灰。

山類の分　山宗。みちく。

白川の宗。あ山坂乃宗。

山路。山姥。つらあり。うくさの岩。

久米路のくら。富士。浅ら。酒川

小山類分　橋。清水橋。三橋。橋田

川橋。ふらの川橋。ふじ

岑。ふそ宮。山川。ふじ川。もぐら川

三田川。滝津川。山科の岑。ふる松。

吉野ふるの奥。ぞうれ野。小野の坂。ふるさ

小袖部。山乃。炭焼。彩。仙人。橋

汎本岩橋。三ぐら橋。ひのろ

水部部の分　海。浦。漆。橋。丁。

井　古井　ふそ井　海

水部部用の分　あ清水　波清

雨加塩　ふか

流。懸。恒焼。あ魚。網。釣瓶

下極。釣糸。海士。蟹。蟹

水部部用の分　松代。海水

三清。小清。松清。橋。橋田。四村

志賀の松。市殺。清く。月の松

雖清津。三橋。橋。天乃浮橋。美の浮橋

横川。三郡川。滝川

水部部の分　天乃浮橋。美の浮橋

横川。三郡川。滝川

雖清。志賀

代。異。乃川。雖清。志賀

住吉。大井。浜。千の三池。四石の宗

松浦。あぐ。白川。宗。四川

水乃玉乃月の名 [illegible]
布さらし [illegible] 八橋 [illegible] の海 汐の
海 勢の海 名屋 小男鹿 [illegible]
さらく波り

四 夜金乃初 [illegible]
[illegible] おりられ [illegible]
[illegible] 別 [illegible]
どりびいろ火 [illegible] 火 [illegible] 火 [illegible]
ら [illegible] 火 [illegible] 火 [illegible] 火 [illegible]
ぞろよ火 [illegible] 稀や [illegible] 食
拾 [illegible] 下紙 [illegible] 帳 [illegible]
[illegible] ふと [illegible]
又 [illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible]
日まち [illegible] 七夕 [illegible]
さよ [illegible] 猫 [illegible]

十五 巳春子乃初

春 [illegible] 東君 [illegible] 光
正月 [illegible] 月 初春月
[illegible] 月太郎月
元日 [illegible]
[illegible] 年 [illegible] 年南 [illegible] 仏
三元 [illegible] 年 [illegible] 年 [illegible] 年 [illegible]
墨 [illegible] 月 [illegible] 月 [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] 蘇 [illegible] 度 [illegible] 日 [illegible]
[illegible] 祝 [illegible] 賀 [illegible] 賀
[illegible] 小 [illegible] 元日 [illegible] 元日 [illegible] 元
氷 [illegible] 服 [illegible] 七曜乃 [illegible] 暦
[illegible] 紙 [illegible] 門松
[illegible] 松 [illegible] 松 [illegible]
[illegible] 炭 [illegible] 昆 [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible]

[illegible]痛。大ぶく。蓬菜かざり。みづがき。かどのこ。四つ[illegible]。[illegible]。おまち。どーあり 疫月免ニアリ

ふくつ〜と炭。ふくふく。ごてう

袖ぐそう。[illegible]

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

かぐ花板。くこ板。破魔弓。[illegible]失

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

きそそうめ。[illegible]。初雪。元日の[illegible]

[illegible]。初雪。去年。今年。明年

[illegible]の年。[illegible]年。[illegible]

松とやー。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

いなつび。いなあぐら。[illegible]。桃符 桃板 桃梗

けさうの実。仙木 神茶 鬱壘 鬱壘 鬱壘の[illegible]

子日乃松。小松引。初[illegible]。初[illegible]。

七草。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。初[illegible]。初[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]書。末の月。下りえ[illegible]
葉花。万葉。新[illegible]。初音。[illegible]
[illegible]。梅。[illegible]づけ[illegible]
匂ひ[illegible]。[illegible]。冬至梅。[illegible]梅
臘梅。[illegible]。柳。[illegible]
[illegible]。月[illegible]。同[illegible]
[illegible]柳。[illegible]。匂ひ[illegible]。金衣
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]

紐搦　糸搦　うぐ搦　はぎ搦　蕨代
菜　焼野　山と焼　芝と焼　そぶろ
乃落　畑焼　畑くと畑　畑刈　黄代
[illegible]　[illegible]　種まく
麻まく　うど　くわつくり
等門　お扱葉　洗濯　さいたつ
[illegible]　[illegible]　[illegible]
あむ　さいて　角ムしり
節の雑　角ぐつ　つぐこま　あさみ
苣　沢ちさ　川ちさ　海ちさ　紙鷂
いろのぶり又たこ　[illegible]

三月　弥生　花月　桃月　桐月
巳日のうま人　上巳　[illegible]　季ま去
曲水の宴　桃花の節去　桃の酒
茶鉢　小八寸合　柳のつゝ　桃花生
栗南　金清　茶師ち乃歳勝去　七月天武天皇の
法花の祭　百五日　仏ま雅り　故事あり　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

海棠　うつぎ　卯月　卯の花月　得意月

辛夷　こぶし　木蓮　躑躅

山吹　酴醿花　木瓜の花　沈丁花

木蓮花　石南花　藤方の花　小米花

花　小米　藤　藤方の花　藤

沈丁　木の花　唐子の花　楊梅の花　楊

乃うし　柳の花　楊梅の花　楊

夜　夜叉　夜叉　夜叉　夜叉

菜　菜つな　菜つな　菜　菜　菜

あやめ　菊　菊　菊　菊

九輪草　日七草　五月　五月

石ぼたん　金鳳花　けまん　丁子の

花　眉白の花　眉白の花　眉白の花

ちやうが　ちやうが　ちやうが　ちやうが

ちやうが　ちやうが　ちやうが　ちやうが

ちやうが　ちやうが　ちやうが　ちやうが

五月　さつき　月みなづき

仲夏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六月　みの月　風待月　常夜月

氷室　氷乃切り　氷の室の氷室

乃掘　氷餅　氷の一枚酒　小さの

あまの酒　六月　日本紀　天武　二年　十日　いつく　伊勢　津　清水　尾州　紙屋　長崎

産湯　産湯　源　十九日　富士　江戸　山王　祭　十四日　勢田　祭

あつ　あつ　清水　寺　富士　清水　清水　清水　清水　清水

竹切　竹切　日　夜神　温風　月令　蒸暑

うひ　ひと　ひと　ひと　ひと　ひと　月令

あつ　あつ　日　夕立　白雨　霧雨　雲　月令

あせ　清水　ひしもぶ　扇　扇　扇　扇

竹取　竹取　竹取　竹取　竹取　竹取　竹取　竹取　竹取　竹取

[illegible]の峯入（十月吉野山八月高山八月大峯入峯）
乃南珍　榛實　[illegible]
蘆刈　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　生身玉
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
十五日　地蔵祭　[illegible]
霧　霧　稲妻　稲乃[illegible]
[illegible]
未擡（月令夏）　[illegible]
萩　[illegible]
小萩　葉　芝葉　[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible] 石花 水萱 花菖
[illegible] 紫苑 [illegible]
月草 露草 [illegible] 葛花 葛の
[illegible] 蓼花 [illegible] 菊 [illegible]
[illegible] 金銭草 角川
[illegible] 穂蓼 [illegible] 苗香
乃宮 [illegible] 芋 いりたくれ
ねぎ [illegible] 未綿とる
同じく [illegible] [illegible]
葉 [illegible] [illegible] 葉
[illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] 略 [illegible] 略の祭り [illegible] 老略
[illegible] 稲負鳥 [illegible] 小雨つゝ
[illegible] ひよ鳥 ひさき [illegible]
[illegible] ひとめ [illegible] 稲
[illegible] [illegible] 小雨
小[illegible] [illegible]
[illegible] 深[illegible]
[illegible] 小鍋引 [illegible]
[illegible] 初穂 [illegible] 田もち田もち
田[illegible] 稲[illegible] 八朱乃種
稲[illegible] 葉山 [illegible]
引板 [illegible]

九月

[illegible]月 和歌月 [illegible]月 小田刈月
孫荒月 末未月
泉涌寺会式八日 [illegible] 主陽[illegible] [illegible]
菊酒 菜萸乃袋 [illegible] [illegible]
菊乃[illegible]綿 [illegible]
[illegible]祭 生玉祭 大坂 四天祭 大津
住吉乃市 [illegible]乃市 [illegible]乃月
豆名月 栗名月 [illegible]乃月
月の名祭 [illegible]口祭 十五 祇田[illegible]祭
十五夜 長崎祭十六日 呉服祭十八日 [illegible]
祭 十七日 [illegible] 八幡[illegible]花の乃 十九日 [illegible]
祭 野乃宮乃[illegible] [illegible] 出[illegible]
菊 [illegible] 籠[illegible] [illegible] 射歌 [illegible]月令 和[illegible]

[illegible]
梅の実　柳の実　榎の実　柳の実　楽の実　根
檀　松ぼっくり　桜の実　椎の実　[illegible]
[illegible]の松　万乃末の実　[illegible]　椎
柳　蓮　楽　蜜柑　金柑　九年母
柚　ゆべし　ゆうなぎ　雲列橘　佛手
柿　まるめろ　榲桲　ざくろ　かや
柔　生乃浦の[illegible]　形乃[illegible]
[illegible]　桜の実　榛の実　榛
[illegible]　松よ　椋の実　柘
乃実　たらの実　南天の実　柘
さ[illegible]　山茶花　野山の実　池山
乃橋　[illegible]　仙蓼　あしの穴[illegible]
かるさ　落ちる　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

月の雲　青女　霜降　落葉　木の葉衣　木の葉の雨　柳枯る　冬
初冬　木枯　紅葉　落葉の風　枇杷の花
木の梢　紫陽花の花　菊の花　菊の露
菊枯れる　二十四番花信小春　月二候梅花の咲く
山茶花　冬ごもり　八重の花　冬の菊
冬の月　八月　菊　菜引　麦蒔く
初雪　初水月令　薄氷　月の雪
冬紅葉　細代　氷魚　氷魚の網
柳つり　網代　氷魚の網　氷魚の網
鴨　鴨　鴨　鴨　鴨　鴨　鴨　鴨

十二月 師走 素月 三冬月

ひるの月 仏名の年中行事 仏名の年中行事 上巳 かづけ紙 菊の花 乃渡

二月 [illegible] 侍所 乃かぐら

[illegible] 月天子 内侍所 [illegible]

大酒 [illegible] 月 和布刈乃神事

[illegible] 別歳 竹 [illegible] 乃みこし [illegible] 遅桜 [illegible]

[illegible] 松 ひしざきの [illegible] 結つる

[illegible] 月令 かさぐ [illegible] 巳 [illegible]

小つごり 十九日 [illegible] 十三日 札とり

[illegible] 月のつごり 初日 [illegible]

年木こり 楽屋 [illegible] 年籠 [illegible]

[illegible] 仏名 [illegible]

[illegible] 什 [illegible] 年籠 [illegible]

[illegible] 年 [illegible] 踊場 [illegible]

百韻之法

諧謂之連歌 [illegible]

面八句 [illegible] 有 七句目月定座 [illegible] 如此六句目モ又八句目モ [illegible]

[illegible] 月秋 [illegible] 月花

○二ノ面十三句目ヲ是非月ノ裏有同

○三ノ面同裏ニ同

各残ノ面ニ同ノ裏ハ八句ヲ以上四折

○始終之法 是ノ四十四ト云

是ハ百韻ノ初折ト名残ト十ノ八別ノ子細有ト云ヘシ

○競馬之法

発句題一ツヲ両人シテ発句ヲ作リ点取ノ勝劣ヲカケ合スル

諧謂 漢和法式

一 端作 諧謂之漢和或ハ

滑稽之漢 [illegible]

一 発端句出来ノ時ハ内ノ
平字韻ニ除キテ入韻ノ字ヲ
定ル〻謙譲之漢和ニハ入韻
字トテ定ル字ハナケレ共常ニ
モテアツカフ正シキ平字ヲ
入韻ノ字ニ定ヘキ也
一面ハ句漢四句和四句也
内漢ノ對句一所有ベシ大
法漢ノ唱句ナレバ八句メハ
和 和漢ノ時ハ八句漢
拳句モ此例也和漢ノ時ハ
和ニ韻字ナシ又韻用ルモアリ
一百句和漢五十句ツク也或
一二句ノ多少ハ苦シカラズ
一花四本 両方二句ツク也 隠番
スベシ
一月和漢ニ三句五句ツキ

苦シカラズ
一雪四ツ也和漢ニ入ベシ一方ニ
苦シカラス
一二句ノ物ハ一句ツク也其外ニ
異名ナドニテ出ルハ和漢出ダニ
一句有ベシ
一通字上ノ字ナバカリヲ嫌フ也
下ハ苦シカラズ
一五句去ル句去ノ物ハ韻字
ニテモツカフヘキ也
一韻ニ出サル文字ハ和漢トモニ
遠慮シテ用ベキ也
一名残ノ裏ハ漢ノ對句ナクテ
モ苦シカラズ
一漢句ニ同字ヲ嫌フ事ナシ
一漢句對ノ所ナラハ和ノ方
遠慮スベシ對ノ所ノムツナキ所
ニテハ和ノ方ヒツトツテスベシ

凡如此余ハ皆誹諧之法ニ用ル

懐紙書式

漢ハ一字下ヲ書シ下ノ並ハ和漢同シ

和ハ誹諧ノ如シ長ノ句ハ下ノ五文字ニテ墨次ベシ短ハ下ノ七文字ニテ終ベシ

漢句墨次ベシ

貴人ノ御句ハ表並ヲ一字上ヲ書シ

誹諧之漢和

松茸其七ヲ

敷きくくしの中

明のクヽ方ヲ

枯橋ヤクヽ

釣竿高水鏡

碁敗盤飛電

酒酔壁吹虹

一漢句尋常五言ニ用ヘシ或ハ六言七言ニモスル也當時ノ漢句今ノ誹諧ノ趣ヲ用スヘシ

邑々作字様々ノ異調用ル度好ミ誹言モ有ミ成ベシ

哥仙之法

誹諧之歌仙

名殘面十二句裏六句以上三十六句

面ノ五句月月

裏八句月月秋

十句月花

狂聯新式

一今人作狂聯放用鄙俗語尤可然漫勿作亂雜之理言

一百韻之中不可用二十年來之世該一氣形生植數量失引隨本例可隔二聯明財

服隔式聯可並用

一數量虛押之字過三十句則可毎用不可三反同

字例重用二十人名地名亦可也

一若用熟語則雖為五字

一平應許之也余賞連句之例式也

○○○

よ新文新院よりかりてこれ物がり
りて一つあり
岩一座ゐこいかゆ一岩屋一かゆうの
ほの掛いわとうくさくさ傘ゐ岩一
いかゆ一又書岩あり
一石も一世とと奉ようようとて一鉄炮
乃石火矢石火矢石のの石山ゐを二の図
岩掛山新よわしくしべ
石火矢、鉄炮ゐ打どうくさくらべし
いうとうゐ川、石ゐ二句こ生ゐ二句こ
神祇あり八月十又歌に懐の家も
岩屋を中ゐ夷歌ゐ
宗鑑五弾乃右ゐ傘ゐいうゐ
ゐ川、敵生ゐのゐ
ゐ生敵生川とも出どうす
敵生ゐと云白ゐ
ゐ掛とゐ
いうゐと神祇あり神祭ゐ
掛とゐ
ゐ二句より傘ゐ
ゐ乃風ゐ
ゐ風ゐ乃ゐ
ゐ
ゐ

岩屋　所々より打うつ　とさつ
石の宮　西伏姫　犬双六の石　犬のうこ
石の岩の表　板せ白ちさつ
いもづま　書の字の面紙さつ
板枕　外紙あり
沈　只二名あり　沈の唐沢河さこ傘
沈二名あり　一長橋　沈切　沈沈の
尼塚沈の伝　所々あり　名
もわしぐる　板の表　河の外　見
わとうくみ　以上
沈田炭　炭　以上
一枚字八こ一　村毎一　村毎かどくいかりさ
るん又八こよりと　ちとかりうちまち七日
こ七日姫と云　同　毎　うちも面かりて
いこ日あり
一門一　あり　ちうて　人倫の伝
傘只二名あり　傘の一　以上
市只二名あり　市の　同毎　同場
所面の　傘の　一名あり　一山

一いかりくとうこ　ちうこ　ちうこ　ち

て二ありれとうめべし

こづくりは何こ二ゐづくりこゐの四ハれ

とうとうみのづくりみのづくりハ面ときこゆ

ハみ〳〵二首ゐ七句結古の字ゐ二句こ

傘ゐ大古と古中古雅古代古代古今ゐ

ゐ也二八四こゑゐいゐ〳〵こゑんゐ面ど

ゐ根ゐり古流古へ古ゑ古多古酒

ゐハ〳〵ゐ〳〵二句こゑゐり

ゐつ〳〵ゐ只一ゐ撓こゑ何のこゑ二句

傘ゐ也こゑゐ一ゐハ撓は二ゐべし

命二ゐこゑ地ゐの命又二ゐとうてゐこ

ゐ〳〵傘ゐ命二命に乱れどれとゐり

出の命にむのと二句こゑ又こゑの命こ

こゑこゑの乱れどゐ〳〵ゐ〳〵命歩懐こ

ハこゑ二花軍一傘ゐ花軍こゑ花こ

見ハこゑゐとやうこゑこゑこゑこゑれ花

ゐこゑうちあひ花そうれ〳〵ゐ

大一ゐれこゑ二大第一ば成一何ゐを折こ撓

ゐこゐゐとうこゑこゑ但ゐを折こ系ハうこ

傘ゐ上の句トの句ゐかりて云べし

句乃中ゐ又ゐ又ゐ

ろ

撓 所ゐの神こ傘ゐ二ゐり

ゐ傘ゐ所面こ撓ゐ撓ゐ

○は

撓只二名ゐ二れこ撓傘ゐ撓只一

名ゐ一撓一法撓一又これ撓

撓ゐこれうちゐ二れこゐり

ちゐのり撓ゐ撓ゐ撓ゐ

こゐ〳〵ゐ撓只二名ゐ二

撓姫 人倫ゐ〳〵ゐ〳〵邪紙こ傘こ名ゐ

ゐり宮ゐ傘ゐ傘こゐ姫こゐのこゐ

往一名ゐゐれど但句神ゐこゐ恨こ

こゐ撓撓こゐ一撓こゐ名ゐ

撓の字こゐゐこゐこゐこゐこゐ又二ゐ

ゐ撓ゐこゐ七句こゐ

撓ゐゐのこれこ姫のこゐこ面紙姫

川こゐこゐこゐ七句姫傘こゐ

あべし　端のほそきあべし　西の端
素戔嗚神　うへ　地のきこゑ　雜
素戔嗚　うゑ　地のうへ　面と　地名
からりてい　白　左　傘　水　所
左　素　白　左　素　一度　水　又　素
と　奉　て　一　以上　又　素　りの　神　色　一
度　は　又　りら　あり
端　あ　居　水　は　二　白　きこゑ
名　紙　きぬ　まる　こと　花　の　花　の　え　水
うふ　あ　べし
素　水　云　の　え　二　白　地　何　と　云　く　い　水　地
花　色　え　花　水　橘　七　白　地　傘　水　花　の　白　橘
め　ざ　う　白　ま　し　ば　付　て　も　ら　ら　か　ず
橘　は　花　は　付　べ　か　し　ず　ず
花　央　和　ふ　あ　い　ま　花　え　仏　も　西　花　は
な　ら　ら　う　へ　地　は　二　白　あり
花　の　素　西　花　え　か　く　の　ら　く　あ　者　と
う　け　う　地　は　い　び　も　も　雜　あり
花　の　ら　ら　え　橘　橘　の　長　打　と　ら　し　ふ

花　あ　べ　び　む　と　び　て　え　え　わ　と　ば　え
ひ　と　び　て　え　ま　あ　り
花　ら　と　ば　ら　ま　ら　ら　神　た　水　西　花　あ　り
う　へ　り　れ　は　二　白　あ　り　え　長　同　が
花　四　西　花　え　え　ら　う　と　の　ら　ば　式　法
い　て　れ　け　ら　の　花　て　と　む　ら　ま　り
花　の　酒　花　の　液　あ　ら　ま　水　あ　べ　ば　雜　花　の
ら　る　神　あ　く　べ　あ　ら　た　ま　て　ば　き　し　べ　し
花　の　か　北　正　花　二　地　あ　ら　地　西　二　道
長　の　日　二　永　日　一　逢　日　一　に　ら　西　と　ら　く
あ　べ　し　長　の　日　二　の　ら　ら　れ　と　逢　永　日
ら　く　日　は　あ　ど　し　あ　ど　み　あ　べ　し
長　雨　て　ら　く　き　付　白　と　ら　し
長　乳　二　長　水　風　ひ　と　び　て　み　あ　べ　し

傘ふる風二ぢの風一ぢ上風ありわとりの
絵の字風ふりとうくふりくふりくふ
くりよ絵ん絵ふまめ雨ふりふ
ろろくくろくくてい三百ろ
絵乃字風ふ第一ろ三風ふるべし
道一ろと乃絵一ろと切ふるべし
最一ろおくくふるべし
塔ふくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山れよ二句さうも
繪一枚者一日ゝれ乃者一ゝ付ゝ
ゝ枚ゝ者ゝ一枚ゝ紙ゝ白ゝ紙ゝ
みゝゝゝ傘みゝゝれ乃者ゝ
ゝゝけ者ゝ者ゝ者ゝ
ゝ一 ゝ尾一
ゝゝ ゝ乃ゝ
ゝゝゝ ゝ人者ゝ
ゝゝ
ゝゝ者七句ゝゝ
ゝゝ乃下の句二ゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝ二ゝ方ゝ
ゝゝゝ
ゝゝ傘ゝ
ゝゝゝ
ゝゝゝ
ゝゝ
ゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

主殿小屋　名和屋　名和屋ハ二句あり
乃うちふろ名和屋ハ二句あり
戸八ヶ氏かふとぎ　ぎーとがてよるべし
戸かよ戸ト戸二句云
戸をあるひ　和れあるひ二句
ぎーー　和屋ハ二句あり
戸ととくとくとくと

名所　是れ字所の字を下二句に
名れ初めて下句の初めなり。なるほどもむ
付句さうふ
名れ初めて名れ初めて初めて初めて
さりくの春は生れて下句
虎一寅一虎もの猫又さへ傘よ
生れ子白雨も一乃初めこれば地よ
さて掛物に成虎今一さべし
名乃初めて名のさつりされ初めて
初めも七句さうふ
とまり木牡丹の字の字の二句
とまり牡丹名に名れて
とり一火一法のさり火一灯乃灯一法の
さべし傘ふ灯一灯乃灯一法の
灯一法ふ名灯灯乃灯義灯ん
かどのさつふ入さべし
とさり義べし傘小夜の秋よ
傘とさりもさり火さりの

短傘　是れ字を三句さる
さりに開ける傘に名れて初めて名
名れて下句さりさる名れ下二句短
○さり
下句振　下乃字を下三句　是れ字を振
乃字二句さうふ
下乃字に　名れ初めて
下句よ　若葉去波北少もさりど
さりさる　波の字を下二句短
中風よ　風二句さうふ
波　波下三句短　下の乃字の乃字で
乃初め初め初めて乃字に　名れ字を下二句　波
波　若葉の秋又同じ傘下波の字
又句さる
第乃さる　文波芳第
よ文さべし傘よ第の字を初め
さりニさりの世さりさる　名れ二の四さる
こみぢん初めどさりさる　文二さべし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○を

呉服二名和よ二傘よ蛇ヶ三ヶ人の
名字ばかりにて也三のうち
小雪二名和よ二小雪小雨も空の内
わりとうくうべし傘小小野三
人乃名字もこの内乃うち有り
を近二とうとぐろ二傘小ぐろ蛇
三ヶ一とうぐろ三ヶ人の名字又可みる
とうとぐろ八二もみるべし
とうぐろ小雪たちうさたぶ二有
蛇三目一蛇の目傘の目とうふ
小ふ〇一あまとうふ一小せんちくさて舟
ぶとぶ八二白ヶ有り
とうぐろとぐろ小乃字まうぐろ男麻
と書ゆへもさとうぐろ男麻
生れ乃ためのこの字付白蛇

とうぐろ今一ヶ有べし男ヶ有べしと
云ふ名を蛇二乃うぐろ有り
とうぐろ〇のうぐろ拙ぬ二有
とうぐろやうぐろ赤ぬ有り
とぐろ秋もうぐろの拙一ヶ有て一ヶ有り
生れ乃とぐろ小ぐろ乃とぐろ有
とうぐろうぐろ
とうぐろ乃字ふのれて秋有り
とぐろ乃一拙とぐろ乃とぐろ有べし
小とぶ付白蛇とぐろ
とぐろ
とぐろ二白ヶ有ふ
蛇とぐろ白蛇後のまとと
づまとぐろ赤小雪二白蛇
親よよ二白蛇乙女よ小乃雪千白
よ有ぐろ二ヶ有傘小女乃雪千白
小も一乃拙ぬれ二ヶ有べし乙女の
とうぐろ同字ぬれ乃雪千白蛇
乙べし乙女乃雪千白蛇
乙女よ乃ぐろ拙ぬ

め猫めためとりのれい人れおわぎ
まえ女ゆも女性ゆも七月きしべ
人物ゆしば女房女性ゆべく参ようと
てもこいろべらしず女の女の者くつも
うれなかれいわゆ一つもとんぼの事
どろう　あ猫よ物ゆしず
女よいもとむもあこあ面どきふ
髪一ゆゆりどゆわざこのれのうら
又一ゆどうくきみべ

○わ

我者王　天子もとべしこき大臣ゆと
ふ　人物のゆ物
王よりろうしの王の世界移と十王
面代きしふ
王ゆ明王ゆ天王ゆどゆ三月去
京面の京　清ゆ面代ゆ面代きしふ
和尚よ　和歌琴　面代きしふ
別き民二　琴よ二傘ゆ別き民の系と
きゆくゆ三のゆ

別系別系のきゆ　系のきゆく二月姫系のきゆく
いと月こ様のきろ　きられゆきゆく二月こ
別き三系ゆけ三月姫系のきゆ同じ
きろきてきれ二月姫
ききまし　居面ゆよ二月ゆり
わさ面きゆ物よ二月ゆり
ゆきに物きゆ二月姫人の別よるの物ろ
者ゆ物ろの様ゆもきゆもと傘よ
系のゆゆくきろきた物きたいて
七月去面し常のきれよ者い
きろしかしむどきくゆ分別きろ
わゆゆ民一ゆつきゆきべ
ゆ系一系ゆ一ゆ系ゆ一ゆゆ和紙
きゆ人のきゆれ面どきふ
ゆ系悪こ　ゆ系ゆ者ゆしゆ者ゆ
ゆ物ゆ物ゆ和ゆ姫
わさぎしよ刀太刀面どきふ
きれに　生れよ　きゆきゆどゆにのきゆ
きくゆ生れよ三月ゆり

ヨロヅビかいうへ物かわらび蕨とも云
こしぐら小柏よめるべし
わらび草雑こうんざうのすん
花とひとしてはなこ花の字二句
綿ふくん二句あり
わらびれづこ雑の字ふ二句
ヨロヅこ 夜新こ新こ
○か
弁慶二名の弁一名和の弁一傘
よ弁ごうち八の弁 天弁岩弁
あぢく蓼ふうこ
といろべうこ
弁よ弁ふ弁ふ弁ふ弁ふ弁ふ面と姫
傘よ弁ふ弁ふ弁ふ弁ふ弁ふ七句ち
弁玄月ふ
弁よ弁ふ三句姫傘ふ付てこふ若
弁ふ弁きびてと云河七句姫傘二
かこきびとい上久と云花名和
深山池潮あぢの只物きびりきふ

いづ弁ゆ乃四こ上久と云時弁
紙乃こ上久よ乃ふ
げろふ雑こ
出乃ふ
姫こ
ふ
らあ
ゆ
ふ
ふ
ふ

川水流れ水花と流れゆくもつれて紅葉
小船小竹を流れ船ど流の川水に流れ
行竹とつどそそてい行竹紙反歌
二句こそ〳〵
行水秋多し雲峰山行水一
又里ごと〳〵一夜かぐらのうちよ
今一ゆ上三月初りり
社家只今よりよりとよろべ
前遂より門乃字七句姫出の字より
二句長和より始〳〵
かくれ家只一長和より社家とこそ
かくれ家より世代いとふ月とこそ
世代うれて恵び家ごとに日言こ
藤日　表の字日月字たかかもさ
ら子紫日子月子こそ
門をこんと云へこく又二ろべ傘
よろんと云へてこれ上門のうちこ
かどて前遂と出板小宮の外こ仏ど
て一ちとそ四上三こかどてみ門西

かくれぬる中社の一りこかぐ〳〵云句い
若社こうこと云字へくいかぐ
秋よりこ仏姫こ
門よりと云うどて七句姫
姫こしまぐれ陰雑うれかけうら
あぐちふれとうこくにうべ傘
よ姫こし姫よ雑西ぬこ
姫よかこふ雪のまぐれ七句姫
かこふ長和よ二句こ
かか名只一表こ川せこのこかけ
よ名又同じ行表ちう和といり
今紫流こう名こうかるかよ
別とこいり
上八こうとこうこうこくこくこく

指櫛ぐり二歟ふり二川ぐり一ぬ間
あぐらゐ櫛ぐり葦うい裏よ
ろべ一▲櫛よりしらげ西ときしゝ
屑表三秋三屑ふゐ名ぬひとびて
も結しかりぐよきひしてを結
数張秋ふし傘よ数を出ることみ数出
ろべ一うひやいふのゝ
かうよなのゝかどゝゆくなの
ぬし付白も形合も表傘よを
点の用形とうへ白ぬさけとうへて三
ありうらうり形わいい表
陸区一入あひ一天表三夜名ふ一裏
ふゐへ一かよ秋ふし陸陽い秋ふふ
ぬどと
滝ふひぐさ。ふぐとぐのまて二白表
かゝ名 櫛とうよなふ付白と表
風よ風炉風ぬらうに二白あり
うのご一名ぬよ一ひうとうふへ一ふと
云ふよかいごと白表

風よ数ふとかゝ
ひひぐさ数ふ
風ふ名ぬうく知
風袋ふ表傘ふ表傘ふ風の字三白表
冠 衣ぬふ帽ど傘ふ冠只一名三
今一うぬふ的とうふむうあくの酒付白
洗とて極門のかゝ冠ふ冠本と云ふ三白云
傘ふかゝく知ぬふ八汗の字二白表
方ふ汗付ても表汗ふも表
数八字二三ゝ千まで八面と表巻と
漬かりても西て一て字桑と云ふと表
かゝのふゝさ表ふ衣ぬふ帽ど秋ふ
傘ふかゝうの袋ふ陽帝の帝云ふ
汗数 巻根数ひぬ汗数ふ汗数ふ
もゝふ秋ふふ汗数ふ汗ふ
ふもふ表 傘ふ
かゝふ 数名ふぬ名ぬふ表ふ
つゝも二白ゝゝふ秋ふ表ふ
かゝゝゝ 雑ゝ秋ふ
笠一ふゝ笠一枝の花笠一笠松一名

ふかうてにもるべしいづれもわるき也
笠ふかり拍子二百五十五
かぶと云羽二百五十五
うりうるいうりうる拍子二百五
からぐりうる拍子あわ〜ど
丑拍子二百五十五
うげどんぬ拍子二百五十五
外の書ふかぬと作物ふかぬどあ悪し
鹿ふかぬ雪ともしとびてもあし鹿ふかぬ秋
雪ど雪ふかもあし
ひろれなくあしかり
新糸陰ば拍子二百五日うげくうげ
亀し新乃字ハ字ふかり
陰よりしあさかれ拍子二百五
合紙一いさふかわとさ〜ふ
かゆと云かゆ羽二百五したくへいうてと云
ひやうれあやうれの羽の拍子二百五
かゆ二ふう二ふ拍子わと拍子よろ
う面紙ふ

拍子一羽の一

川田 拍子二百五十五 ふくとくとくとくべし 傘ふ川と云字かり
て二百五十五 新ふ字ふ拍子二百五
笠ふかり拍子二百五 ふくとくとくの字西と拍
かうよ 丑ふ一ふ二ふ又風ふ拍子
面紙ふ
川のりうらうふ拍子ふわ〜ぶ拍子
川ふ拍子 ふり拍子ふ拍子
うりかぶ かぶ〜ぶけふの拍子ふ拍子
わ〜ず 生ふ拍子ふ拍子
うげの音 鶴拍子ふ拍子
かぶうり 拍子ふ拍子
奇物人偏ふ拍子 ふ拍子
刀ふ刀ふ小刀ふ拍子わと拍子
ふ富蔵刀ふ拍子
麻とふ麻で雑し今素とふ拍子素の
二世玉乃逆風雑部ふ拍子
ふんふ麻とふ麻

かくうのごとく云ふのれにぐらい可なる
傘ふかうの一かうの平あるこうの一抜くこり一
或とかうの平あるこうあるこれらふ一
ひと二も仏法梅法あるどの奉るよう
いまなりいくのもうべし
雖よるこそいまうそ七日経傘ま
くうれふぐそこ三日経うえれふくぐそ
ふくもうかこと三日なし
かふーさと云ふ二ぐらりあるべし
傘ふ日梅とうくくこと
翼八なまに　かくこと夜もし
雷のあこ雲こ雲ふ雨どそびえ三日
かとまりふく清濁のかりふく二日経
ふぐりてはとすりふーどと二日経
○よ

然れ共同ふかう二日経し共同さまたあど
ふりれ字いきうふ傘ふ一ふと
云ふ意よ二共一ひとこと
代共二神代一傘ふ奉代一神

世共二悪懐二仏乃世二京ふ二浮世
遠世八悪懐之世ふ世乃人八平世和
世ふ世八仏世ありふのも面と経平世
とくくのるれれと経悪懐仏世同ふ
傘ふくこ世悪懐乃世仏世京ふれ
ふれよこうくくふ六む面とこうこ
経と仏月時ふふもふふもふふもと
和れまふふ字ふふ日ふ今
和の文ふれふ日ふれ四ふふ
和生二青二傘ふ青二和のまふふ日ふり
青ふ青時青ふ和と和ふふ日ふり
ふりどの衣　経経ふ経ふ
蓋生　和ふ二日ふふふどりふ
和ふふ蓋傘ふ蓋生ふ和れ神
蓋生ふどの生れふれふれふふ
ひどふりふべし蓋二共和一蓋家
蓋葉ふどれ和ふふふふふふ今一ふ上ひ
よりふふふふふふふふふふふふふのーわ

[illegible]

鈴ヨ[illegible]二匁 [illegible]匁 [illegible]

[illegible]ハ只二疋ホ二傘ホ只二疋ホ二

[illegible]の[illegible]ヲ[illegible]のわらは[illegible]匁半と[illegible]

[illegible]ヨリ[illegible]二匁[illegible]

[illegible]ホ[illegible]ホ[illegible]ホ

七夕　新六月月日ハ二百疋月日あど
ひとびくい新六月ハ松ど
七夕一七せたと奏ゆく一ねとえく
えべー七夕ハ天の川二百疋傘ハ
七夕ハ天の川三百疋
たゑ川拍よ田ん字ふ三ふす
田に田植ハ田植疋ハ疋ふ
ともしめべあり
田ハいろおもふ三つず
田に麻とむとしても植拍ハ二百こかべ
麻疋ふと云てハ植拍ハ二百こかべ
ひこあどひとびくい二百こかべ
ふあれいあり
玉ハ　末玉　珠数七百疋傘ハ玉に末
玉三百云あり
玉れとに命一疋疋疋の命あとき
二百疋疋の玉れとと疋の命あど
いれとうくえべー傘ハ玉乃と
名ハ二疋ハ一命のかよ又

田ハ生田田と俗田ハ嫁ぶれも三百
田ハ苗代ふ苗ふくいぶれも二百
田ハくろあぜあどれやらあ二百
ハ麦よしくび二百あり
れに拍疋あり拍れ麦ハ二百あり
脇よとあり付べうべくべくあり
付べ付合あり
作ふ生れハふ疋ふ
田疋ハ雑ふ田疋ふ田とふくハき
田にされむれふと云てもあ百疋
三田ハ三百疋
三田ハ水田田疋ふ
三田疋名田ハふ
ふ田ハ用拍とべー
ふ松乃松　山ふ名あり
猪の字ふ傘ハ奏ふてと
以上三あり
猪のふ字ハ田八百のうちゆとべ
他ハとは田疋ふ

蔭ふ 蔭頭代さくふ
蔭ふ 蔭支 二句をちこ
蔭ふ 蔭掛よ打うと絶
蔭ふ 蔭出一花かもうう
蔭ふ 蔭火 蔭ふ蔭ど蔭火入り 蔭火
蔭ふ蔭火こ傘ふ蔭ふ蔭ふと云句二文
うり打ぐうくあるくし
蔭ふ 蔭掛七句さくふ
蔭ふ蔭 蔭よ蔭ど傘ふ蔭火と云
蔭ふ蔭ふくとこしばとびとびてハ
蔭ふとのうくこ
蔭ふ 蔭の蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ二句こ
蔭ふ蔭よ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ
蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ
民乃う蔭ど 蔭蔭ふ蔭よ蔭ふ
蔭ふ蔭よ 火二句さくふ
たを蔭よ 蔭二句さくふ
たりとふよ二句蔭神ふよいかも蔭
冊よ 蔭蔭二句さくふ

蔭ふ 蔭よ二只二傘ふ蔭ふ蔭の蔭ふ
うち蔭乃句ふ二三句もうべし
蔭れ蔭出蔭ど蔭蔭ふ蔭ふ蔭ど蔭ふ蔭ふ蔭ふ
蔭ひ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ
蔭ふ 蔭ひて蔭ど蔭れ句二うべし
蔭ふ 蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ
蔭冊よ 蔭 蔭蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭ふ
蔭蔭よ蔭う付てもうーかうど
蔭ふ蔭乃蔭ふ蔭ふ蔭ふ蔭付句と蔭
大蔭蔭蔭蔭ふと云て又蔭
大と大打と蔭大蔭大天狗大木
大蔭蔭のうも
大ととふいうくふくの面とうふ
大ふ 大蔭付てもうーかうず
大蔭一 大刀一
蔭二蔭蔭うくふ二蔭とうくふ
蔭ど 蔭うちこのうちと同一俗の蔭
蔭うちこのうちも
蔭さ さうど蔭ど蔭ふ蔭木と蔭

そもそもこれを本ふみの格とするも
古今を近乃言葉もそらぬ
とあるも見し一度ふ一ふ
とぞまねとなるべし。ふるう所
き後乃字をもぐ付てもるーかど
ふみなるふ　たゞ二句也

○れ

逸奇よ　歌ばかりとは
まん意よりもぐれ面ばそらふ
かくれをぬれそらふ　かくれかぐるふ
下和乃句三句かり
例句ふ例よりぐふ　れのるもし
ぬふもむるもぐ　ぬ　奇もかるも
ふ例ぐに云ふ　ふもるも遠例
ぬぐ云面ばきふ　ぐ二ふべ　病
ぬぐ云病乃ぬ　ふ傷紀中乃
れ一れ歌也れ　ふ句ふ
ふ句一

○う

鬼八ふ　ぬ外ぬ　天ふるべ
鬼よ天冬ふ　丹ぬ　れも二句
鬼よ　末天七句ふ
外面ニ　面れ字ふ七句也傘よ
ぬの字ふ　ふん外面ハ
乃用ふ　ぐハ面れ
沼ニ　傘ふ　ハ面ハ
を嘆　勅の世の　れハ二句
ぬ　ふ　ふ　ふ
二句ふ傘よ園　園ふ
ふ　ふ　ふ二葉園祇園
ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　

船と秋く傘ふそうづあること
ねどーのるふ仏ちどあるとあるね
ゆり場あると雲ゆ雲ゆりゆ流あ
そくぐ あまりゆ ゆりゆ ゆりゆ二句
秋氏女 秋の雲ゆ はたふゆりゆ ゆ
さ流のるこ 俳諧ゆ とて仕そら女
雲ゆ ゆ流ふ雲ゆ 雲ゆ 雲ゆ 船ど流
乃るふ仕そさらゆ ゆ ゆ ゆ流ゆ二句
章ゆは 扶行 芋ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ 燈ゆ
乃雲ゆ ゆの燈ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
そ一字ふゆるかゆ氏ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ二句
春の字 ゆるゆるゆ ゆ ゆ ゆ ゆ 春命ゆ
春ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ

○つ

月ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
月ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
月の衣 人倫ふ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
傘ふ月の衣人倫ふ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
月西三つゆ月ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ

ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
三月月ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
俳八ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
春ゆ乃 ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
月ふ朝月二月三句 月ふ日二句 ゆ月
次の月月ふ月ふ月 月ふ月ふ月 ゆ月
月のゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
月ふゆゆゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
雲 ▲つゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
月ゆ月ふ月ふ月月 月月 月月 月月 月月
月神 月月 月月 月月 月月 月月 月月
月の月 月月 月月 月月 月月 月月 月月
ていゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
雲 月 月月 月月 月月 月月 月月 月月
いゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
よ秋ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
雑ゆは 月ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
月の月 月月 月月 月月 月月 月月 月月

秋入あひよひとびとの月見にも
とび月ぶきも秋分のあらば
霧うすうすと傘もあり季をかれ
ば三句去なり

月ふ新代ひもびて二句目に新同ふ
嘲躍一去し傘ふ茅ふみそてみるべー
月結ぶじ初どう沖抜ぶ
月茅よ 雲茅よのくるなり
雲ちぐげを聖 越抱ふくるず
沖ふ二句ふ二雁波沖のつりぶ
あまり奥沖ぶどのつりぶ
妻よ 妹うくるくるべー
傘ふ雑波沖ふくる雑波と
ふくるべー初んと月茅
くくるくるべー沖
沖のれの字ふくん天沖奥沖ふ
沖ふくるず と云板ふくる同字
初ん月見も三句去なり
霧ふ一ふ沖と句ふくるべー

霧が昌もうこのうらなり
霧月林一樓抱ふ霧の薬雑
くくくー 参沖紅ふ抱 大くる
のるふ一霧云云るる俗 俗字のん
初句初ん月ふのう字傘 字とん
くくるず 天茅茅夜書
翅ふ 羽田月きヒ二句姫傘よ
句茅とくく翅二句なり
常ふとり火 秋ふ水北ど傘ふ
常ふ ふ月一ふ茅ふくくるる
雲ふけてくくるる秋ふなり
沖ふくくよんびくくる七句姫
つ初りて 杉とくくるべー初り
初ーどふ二句去なり
つまふ抱ふ姫どん傘ふ新ふ杉と
抱木の字ふ三句 傘の字ふ二句
紙ふふよ ひくくる紙ふもくくるず
素一素戸一素よ紙ふ 茅ふ云みる
辻 いくくよんびくくるなり

素みをうけうけうりの面と裏
法て只二 点より一しびより
役 人偏の肥ど乃大ぶの使ともせ
とわれば 傘に使只二 点より一又書
つひ法つひ 間より一みべ
蜜 紙ひ 掛つび 相法び
つがひ 雑 花 びて 後
白ひ 用傘ひ 掛 之
れ 只二 点より一
つ 只二 点づへ ひと くよみべ
つ 乃字三 びひ 三の ひ 也
ひと つべ
ひ と 山字 やと
つ 守 おやと
つ 守 二点べ
ひ
つ 使 二の ひ
ひ 二 ひ

○ね

子日 子の年 べ 傘に 拙 二百
拙 拙より 紙と 拙付 白ひふ若
称 正 神祇 人偏
会者 為り 人偏
寢乃字 日 ひ 井 ひ
山外 寢乃字 ひ 面 く 可
名歌の移 七日 拙 傘に 拙
より云て一 寢 より 国 眠
七日 拙 ひ の外 二点 下て
乃 と 名 ね と れ と て
鼠 鼠 鼠 戸 鼠 ひ
ひ かりて ひ と
国 ね 七日 拙 傘に 国 二 ひ
眠 記 外 寢 二百 ひ
寢 名 一 虫 一 歌 一 眠 ひ の
拙 若 拙 ひ の 拙 の字 人 拙 ひ
ひ と 拙 若 ひ 三 拙 ひ 面 拙
市に 参 ひ く 三百

猫一ぴきの子ども　ねこ　子猫

○な

波の雪　波の花　波の雪　波の雪　波の雪　波の雪

雑波の　波の雪　波の雪　波の雪　波の雪　波の雪

蓑波　尾花の波　尾花の波　尾花の波　尾花の波

かるかや　かるかや　かるかや　かるかや　かるかや

波の花　波の花　波の花　波の花　波の花

波の雪　波の雪　波の雪　波の雪　波の雪

波の時雨　波の時雨　波の時雨　波の時雨　波の時雨

雑波の　雑波の　雑波の　雑波の　雑波の

波の雪　波の雪　波の雪　波の雪　波の雪

波の雪　波の雪　波の雪　波の雪　波の雪

波の雪　波の雪　波の雪　波の雪　波の雪

かぐこの花 樺桜おなじ花の名 只一花ホ二花ホ三花
云くこの花 紅花 赤木の花ハ裏ホ表ホ
名ホ名の字ホ名の字ホ名の字ホ名の字ホ名の字ホ名の字ホ名の字ホ
なびく 花の頭 傘 傘よりおびきわく
てこしたかり 二みべーおびく
七句 七句
かりの花 傘 又四れかり
子のかりの かいもぐれ 又花ぐよ
付ハ 又一ぐべー
俗ニ 月ハ 花かさ 又 花
かぐぞ ホ花の字 七句 花 秋半
の字よこ
中ホうち二句 世の月 月ホし
中花 二中ぐ 二傘 中花
中花一仲人一 媒ホ
かぐうど 中花のうち ホ一ぐべー
中花 人倫 中の字 花花 二句 花
花命 長 永の字 二句

なぐ 月ホ行の字 傘に 月
果 書 ホ一ぐり 一号 家
とし花よりて又一ぐべー
かぐ ホ ホ二句
かれ字 かれ字 かれ字 二句
かぐ ホ七句
かぐ 花 付句 紙
傘ホ花の字ハ字 ホ
ホ花 ホ花 ホ花

傘より成の字三句なり
あるにあらん付句紙こふ
あるとあれ下の加かとそうくく
い付句ぐりとこうこふ
あるるありふ形ん七句こふ
あれやあるるあるん句あり八西
とうくくハづゝ傘よあんやあり
しかんのうりいがが七句なり
句のとまりまる百款ふこづゝ
ありふりかぐつぐきろ河写
傘ふあうのあがかのにまり百款
よ句れさけとくく二ふべ
やとあり八付あり
かりるるかに二句こふ
人の名人偏に低刀の張ハ絶えの
名あれた人偏よあるるど
おいとりかり表し嗚句と云
○寄人らい
述懐あり

らんけうんけうんけ
あれと付句紙こふ
らしとらんらあけ二句絶こ
いおもこうこと
らくこうんあるるこうぐき
ろこうふ七句こふ
らんよあるば二句こふ
埴猪 秋くも紅入をあるど
句絶りあるば秋こ
らふ景のあるらふるこくあぐ
う海ぐろべーこうんもあるぐ
乱世乱表あるこく世ろぐれ
ろべーー乱表あるこく碁ばろ
べーこぐれ表ろぐうん

○むし
荀二述懐いあるよ西と絶
空のあ表あ表あ絶どこあぐ
あ絶りあ月れこぐれもこあ七句
絶傘ふ空のあ二こ空のあいはこ
空の八句 絶あれ二絶あ傘八二を

一八名所ゝ云一流い人ゝの竈と云もゝ
▲村居ゝ二百句 村茜枝村ゝ ふ場
▲恋歌 村の字ふ二句場傘ふ村茜
二ゝ ▲胸ふ二句ゝ
▲近ふ白い 二句ゝ
▲ひゝ ▲恋し 形ゝふ形ゝ
▲ひゝ ▲ひゝ
ひゝ ひゝ
ひゝ ひゝ
ひゝ

生ずる事 命ふる時生ずる事
六乃花 雪に七日迄命ある雪の内
地獄地獄に成ぬ二ヶ月ふり
むとなふむとめ面と成
むと 蚊と地ごむこと入る
蜂蜂 天蜂 神 蚊 ふるとど
麦飯乃ふる ふるとど
虫ふ二 松虫 鈴虫 みの虫 ふの内二
ふれもれて成 ふるとく
ふれむしいとぐ ふるふ
乃虫又ふ ふるべ
ふぐふ別 ふ蚤 蚤
ふのむしみの虫 ふむ虫
虫ふ ふ股の
むしの字 ふむしの字
つぬむしふ 三日ふ
民蚤の治 八月廿日 治
ふり出 ふ
う

海二名ふ三海 海ふ
ふ ふ
蕎の字八 ふ紙の
傘ふ蕎の字 一度ふ
物ふ ふ ふの
物ふ ふ
物何ふ付 ふ
蕎二百ふ ふ
地乃名ふ ふ 蕎二号一
ふ地ふ外ふ 今日
蕎蕎 蕎 蕎
乃蕎ふ乃ふ ふ
と蕎 ふ
ひぐふ用ゆ
鰭 生ふ二百ふ 蕎ふ 鰭一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

井也尺一寸実ハ[illegible]
拙ハ一雅 傘ニ拙
名聖人の唐の拙ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
射陽[illegible]め 十月十六日ハ[illegible]
文[illegible]

○の
法 仏法 法の師 法四[illegible]
ハ法 爰ハ[illegible] 傘ニ[illegible]
[illegible]
法[illegible]
[illegible]
野ニ[illegible]
四の面ハ[illegible]
字[illegible]
[illegible]
傘ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]

能の脇 同つれ 姫人 編 たそい人 編

野遊 句作り 〇三十四

乃ち色々色を色を色を

巻一さきん一巻ふ　きゆりこ　ぐ〜
　　ぎと　ぼ　ぐ　ぐ　ぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

柳こうげ 柳こうげ はるばるとはるばるとはるばるとは

わかそうれうとかどをさす

○や

社二社よりつづく焼傘ニこやづと
八幡宮と云ふ社あれば社に付て
山ゝづゝ曇の雲のうゑ新ふこゝ
拙し傘ハ山乃ふ三句云
山姫 山姫 新ゝ人 極ハ
歌名 山吹ら 紙屋文ハ べし 山
ふ中絶傘ハ歌ハ一山吹のうこ歌一
くうんぞうと義ハ文てハ一ふ千義
ふ歌名と付てもふ句ゝ どうんぞう
とやまぶきと渡ハ月ハのあまり
苗種ゞ ゝ云 ふうんとうハ義ゝ云
山のを 拙 三句 拙 句 拙
山こうくうんと云 河二句 拙
山ざとにもゞ 山 句 拙
山のくに 形 河 西 句 拙
山りとに トりえ二句 拙
山法ゝ下 拙 下 拙

ゝくゝ又ゝ傘ハ山のうけと一ゝ
角ゝ山ゝ山の東ふりハふり
ど山のハゝさにりこゞ西 拙
傘ゝ山のハゝさにりこゞ西 拙
山栄 ゝ ハ 山 海 山 拙
八重 八重 八重 八重 八重 八重 八重 八重
ゞかりくゝ義重一重 義 義
傘八重と云河一注三ゝ重九々八七
句 拙 重 九 ハ 句 拙 ゝ 河 又 ゞ ゝ
義ゝて云句ハ三句 月ゞ ゞ ゝ
と云付ハ付てもゝ ゝ ゝ ゝ

柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳
三 三 三 三 三 三 三 三
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳
柳ハ 名 山 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
歌只一 ふ 橋 ハ ハ ハ ハ ハ
歌一ゝ人 拙 ハ ハ ハ ハ ハ
宿二 橋一 ゝ 二 ハ ハ ハ ハ ハ

みのべーなるべしやぐらの物のやぐら
七日ちこ日西四巳みべー
屋敷一やくさ弁又みべー屋の字ろす
屋二ろ屋二百姓 屋のべー
市屋板屋名屋敷やうの屋のじ
西紙ろくさ八ろ端屋酒屋絵屋泉
屋あれ板ろ八ろ紙ろ紙ろ屋又屋
あげまやと第屋のろ八七夕海ろく
同西四巳百姓傘二屋ろくさくよ
云ろくさ屋四一八板ろと弁屋て
べー屋ろろ屋七日姓宿やぐらや
よいろ日ろこ百ろ三百姓ろ
矢 云ろくさ二百ろ弁の矢又みべー
矢二ろ西代姓弁の矢同ろ
流編る弁紙ろる弱七日ろ三百ろ
関ひろ九七日姓
徒よ 大刀長刀ろ紙とろ
徒一徒柳徒ろんろ
徒とぐひ又みべー

弥生ろ山名ろよろ
山海 ひろ
やくさと云日名ろ
ろ弁ろ弁ろ
みべー八まんと云日ろ名ろ乃
やくさみべー

〇まま
松よ子日二日ろ
松の門 松垣ろ八姓よろ
松風二 松ろ風とひくさ又二ろり
松風弁 時雨ろ八ふり和二百ろ
松の煙 行事ろ弁ぐれ煙海和二百
松の葉 松のひぐさ弁ぐれ風弁二百姓
松よ海松 和布 たろ平屋
松乃みぐり 松の家敷ろふ鼎ろ傘二
みぐりろ弁みぐりろ八ろ
松葉 徒柳ろ松の字ろ百ろ葉の字八ろ
松ろくさ松のくさ焼ろて色徒和ぎと
松のりくさ八ろ二百ろ名姓よろいぐろ

桂ハ木乃字ニ百五十五ハ桂の字ハ木の字ニ百
秣 生れうの和草のなたニ百るハ七百
桂ハ桂のやうなる白ク桂ハ桂くるなり
桂ハ桂に付くるもの
鞠一ヶまり一
町 長サよりハ一ぢ町ハ長サ百ニ糸
乃町ハ乃長サ乃同しもの
扰 みよ ハ ぢ ぢ ぢ ひ ひ ハ ハ ハ ハ ま
ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ

くふよ今のまゝ五拍と名付べきもの
下知の行の五二百しゝてへべさけて
えねおゑよ　あぐ　えをもを
くふ乃こそとほ　ひ　ふ　へ　ほ　ぼ　ぽ　てと
ば　ぶ　ぷ　ぶ　ぷ　ぶ　ぷ　ぶ　ぷ　ぶ　ぷ
くぶりふ　前二百こそ　ひ　ふ　へ　ほ　ぼ
くぶりよ　米　ま　ぬ　む　め　も　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ふとぶつ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文政文の時分小姓と傘に文の字紋

[illegible]

ふくろに ふくろに二百疋

ふくろ 和らくくびれなふ疋

み 疋三振二みな一みな一つづまもれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲苔の袖　うゑわかぬ袖どころなわかぬ袖ど

▲苔の衣　虫憐　うゑわかぬ袖ど

▲苔莚　うゑわかぬ袖ど

▲苔の戸　苔扉　うゑわかぬ袖ど

▲苔筵　うゑわかぬ袖ど

▲木のくれ　木陰　失物　うゑわかぬ袖　二句

▲木陰　只一　うゑわかぬ袖　風雅　うゑわかぬ袖　二句

▲苔の衣　虫憐　うゑわかぬ袖　二句

▲木ぐらし　苔莚　うゑわかぬ袖

▲云のうち　云二句　うゑわかぬ袖

▲河二　河　うゑわかぬ袖　只一

▲衣ぐり　衣ぐり　うゑわかぬ袖

▲掃苔　掃苔　かの字　うゑわかぬ袖

▲あらし　あらし　うゑわかぬ袖　云云　云二句　あらし　云二句

▲氷二　氷　一　氷二　一　氷二　氷　一　氷二　氷　一　氷二　氷

こてかしこ　山ゑ乃ゑ　ゑたに二匁　傘二
村匂　ぐろと　姫
昆布　くろいわ　ばあ名　三枝と
ぐろ　紺　あ名　三枝と　氷　七匁　姫
こと乃りわ　くろ　しこ　こ　くろ　乃ど
ぐさ　ぐ　ゆの　ゑ　ふ　姫　ゑと　ゑ
柴　こ　ぬ　わ　ふ　こ　ぐ　ぬ　ぐ
こ　川　ふ　ゆ　七匁　姫　姫　ハ　ぐ　と　姫　こ
小　ゑ　ぐ　り　秋　こ　姫　ぐ　り　ゑ　ゑ　ぐ　り　ハ
紙　の　ゑ　と　け　た　西　ぬ　こ　こ　ふ
ゑ　の　ゑ　ゑ　ゑ　ま　も　ま　ぬ　こ　ま　ふ　ふ　ゑ　裏
ふ　ゑ　ぐ　し　ゑ　ま　ま　ふ　ま　姫　山　ふ　姫
ゑ　の　山　羽　列　の　ゑ　ふ　ゑ　ま　ま　ま　ま　ま　姫　ま　り
用　ひ　ま　こ　ま　ま　ま　ま　ま

下ゝ同ゝ　　　

名所乃天の川 八月七日

天の川のあかせ水をひとびとくを
はらへ給 秋く新くかいつ人数こ

雨降ひしもとぶ 新くいつ人数こ

あげまこ二あげまこ 四れ海こ同こる

あかつきれ海 名所こ 四れ海こ同こる

名所よ二白こ

あげまわそび行 祇こあげまやわ

宋七白こ

あこれ七こ 名所付く宋乃二白

傘こ数りあこと 名所 三月十三日

女踏所こ

あこ山 素れこ 名所 ひく八 同 祇二白

和坂 山れこ 名所 名所よ二白こ

横よ 名所よ二白こ

名所の字八こ 朝こあこ 七白 祇

傘こ数りあこ 早足 傘 金丘

と名と 数ふ 時こ

朝 時こ

朝あ月こ 北 名所 朝 又 名所 時こ

三月こ 時こ 時こ

あこ月こ 時こ 時こ あこ月こ

法 よ 二白 祇

名所よ 二白 祇

わこ 名所の字よ 二白

わこ 名所の字よ 二白

わこ 名所の字よ 二白

秋 一 祇の 春 小 一 こ の 字 二 白

祇 名所の字 三白こ 傘 三 春 と こ て こ

こ 名所よ わ と 祇 こ 名所 小 月 次 の 月 名

祇 こ 名所 の こ て と 名所 の 八

こ て の 新 小 喫 名所 こ こ 名所

こ れ こ 名 も 新 小 喫 名所 こ こ 名所

名所 こ も 新 小 喫 名所 こ こ 名所

名所 こ も 新 小 喫 名所 こ こ 名所

名所 あ こ れ 名 も 新 こ も 喫 小

名所 こ れ の す あ こ れ こ も 時 こ

名所 春 名 の 字 二 白 名所 の 字 よ 春 名 字 春 三 白

名所 名 名 の 字 二 白 名所 の 字 よ 春 名 字 春 三 白

名所 名 名 名 小 二 白 こ 名 名 名 名 名 名 名 名

あ こ れ と 云 河 一 云 名 名 名 名 名 名 名 名

こ あ こ と 云 河 一 云 名 名 名 名 名 名 名 名

こ あ こ と 云 河 一 云 名 名 名 名 名 名 名 名

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の田乃廉とびてもうへはぢと
廉と遠ざかるべしはづ(ぢ)
秋きたりやきしきぬぎぬ
あさぎぬぎと秋のさむしきぬぎぬ
二ぐるりもうへべし
秋の秋ぬぎはんぬぎ白絞りぬぐ
ぬぐは秋いれはとうへさくうへ
あそぶ二あそび二絵山一裏ふてを
わしれ わしれ釜 たしれ併麦茶
たれわとあわれ釜いりわ二百金
麦は只一麦われ只一麦はれ只一
併の麦又ふを麦はれと屋おしれ地
乃絞。麦釜。併の麦ふか雑
わしれのふあうふあり
あそびしれ色 但白絞とうへ
あさぎ色 一ぐるう人一
麻衣 人地よりしど
わしろ二わしに面代地代二百
わしろ行秋ぬりぬ
作麦ぬぬ
わしに あむん二白ふ
わしろの麻 居ふよ二白
わしろ人傷めわ 人傷金人傷
わしぐ ふろ乃ふ二白地
わもいろくふふろくふ
あ行ふ併わ併ふ人あ
わぬりふ角ふ白ふしぬ生れ
よ赤紙地ふ又地ぬ
わしむ行ぬひ只二ふ只二ふ
只二ふひ又ふふべし
わしよ只麦清ふ二白
人乃わしふ白紙のわしふ
乃ふの只い七白ふ
○さ
星形ふ居ふ地ぬと禁中の外とふ
坂只二居ふ二金一二上二
沢只二居ふ二金二八上二
立て居ふ
横数居ふよ行ぬど

さぶれ石に小の字二百疋さぶれ石小石のようなり
菊茶茨殺 祢紙なり
僧るるかうふとぐくろい雑
宝ゝ名三一表三秋二一傘二宝ゝ名一表ぐ
さびた一さ四一又うんと考二一ちぐ
しゝうくも同事ゝ同れ三ゝ云てる
さ四り事ゝとくく二傘ゝ事ゝとくく
宝ゝ名ゝさ四り 西祢きゝふ
作保姫 祢紙よわゝどゝうひの
三四姫 橋姫の姫のなあぐらゝ三
橋田 乃ゝ山橋のゝ人物ゝ
たの字ゝ宮三一宝ゝ名ゝ云て一
ひゝうとゝくく二 右れゝ同の
橋一 逢橋一 ゝ二 ゝ二 夜の橋一 ゝ
れゝと宮ゝゝ 朝ゝゝ見ゝ
表乃ゝゝゝ二のゝ
橋人ゝゝひ物ゝ 二百北人傘二
事ゝ考ゝ 三百姫人傘ゝ
候ゝ字ゝ 三ゝ字ゝ 宝ゝ名ゝ三二
ゝ表ゝ 傘ゝ
ゝゝと 二百七百ゝ
ゝゝゝゝ 西ゝ
ゝゝ 傘ゝ
ゝゝ 三百ゝ
ゝゝ 山祢乃
ゝ 山祢ゝ
ゝ 山祢
ゝ 山祢
ゝ 山祢

猶一ぢんこう一まら一申一ぢうぢん
ちうこくの猶のうしにてかぢんをて
申の年申の時ぢんにてぢうべし
さうめとさうるくはまるえの月し
はのなを二年ろうべし
又月面一掬の面一又又月の面ろう又
月面のあめとうおぢうにてのうぢ
苓ふうとても一度三の四之月面
二月〳〵ばれいの面猶上下のるふかり
てあるべし
さびしさ三ねさびねさびかどのろ
一ふと三〳〵つまつまくいさびきれろ河ふ
まれ之乃邪ぢさびぢさふ面後猶
つまつくの河つまつく茶今ろうべ
又能給家奠国鼻かどく云河つま
くふもさびしさふも面ろうく今
一ぢうら三所ろうかうろうろう
いつまつ苓ろうべうるべうとう
云いうれと云河ぢれ先基後の所
ふさびれ来ぢれねぢれ三ぢれ

藤三百ちろうと行三藤ろ地三藤
されまされれ秋されなされ名されろ
ぢうり中く義されねろれと云年家
中ものづ〳〵ば口傳の通只云ぢれ
ハ秋ぢれぢし云河ろうるまや云
乃猶中ものかうねぢれし

○き

祇家云の山月丹　家ろうもこれ松ど
部清　祇祇ろう
行人　人書ぢ松ろ　面祇猶
きろう　只二
竹　只二名不二ろれ　二ろれ　ハ裏ふろべ
　人命二　枝緯　ものの
　　ハ裏ふろべ二のろわと
猶云の名又二人猶ふわべ二のろわと
家祇猶云裏ふろべ　猶ちもわと猶
猶云の名二のふ二文猶云ろべ
末ろよ　木の字　二百
木と木　ふろ　ろう一方ろ人の

禁中四季大内雲井の月も西
にかたぶく金一郡一名二郡一
但月の庭と云へば月の名所
又の名城城の名所南北の名所
京都郡上京下京四
郡遠郡新京平安城洛陽洛中
為外京京西京東京のあく今
此上京打上洛中京
外京西洛陽洛中
京平安城洛陽洛中
黄の字

菊 花くく二金一名菊てこと
菊花の菊門おく人和歌も秋也
ほくとどくかぐ打とくく二月か
小今一名菊てこと
名所菊てこと
菊月かくみこと
菊月の月

九帳 木二百枚
九帳 木二百枚
九帳 木二百枚

金一九帳木

樵夫 人編こと
今又の薪小
小二小牛 小面
ようこ薪小
食指 ちこ一つ
いわとくく
金二金銭金屏
金ぐく一金屏
幼殿 燈書
銭一銭銭一
作 数
板二三百之金一
ひぐく
きぬの
きぬく
きぬく
くと

板三百枚と云
ぬくかぐ
ふり衣新二百金
只一又花のちるもさぬ
ちれば花ちる

今ここに別の字を以のくはあるべし二百も
紙のうへにかくいかにふかしどそれの
ちかくに花敷れたる衣れ二百づ
きさらんうるめ中とべうれん後のこと
八月をあれば二百ちうべうちうあり
きさらこれ月次の月夜九三百も
ちうぐうちうあるうちうかれうち二百
ちうし　和ハ　ちうの和ハ二ちうも
ちうう傘ニちうく今ちうべ衣
ちうちう門ハ狐のなにあるべと
ちうう紙れば貌てもちうかば
本の中ちうあるちうちうつど
青の海　すうれ海　青の海つばさ
もれ色ふかと
青の雑　居ニ二百塩三七日
青　祭りあしちうあ　あばちうふ
傘ニちうあしちうあ　ひちうあ
青月一ちうのひまよ又一ちうべ
ちうく一ちうあ一ちうあ一ちうあ
ちうのちうれ和ちうあ
ちうるのちうれ
ちうるのちうれ西ちうれ生
ちうれちうもちうあ
ちうれ耳二百塩ちうちう耳ちうに同ちう
ちうちうちう鼻ちうちうちうちう塩二百も
鼎ちうあり　ちうあり
ちうくちう一養ちうちうちうあ又一ちうべ
傘ニ蟻蹄と涙ふちうふちうく一ちうちう
望ちう出ちうて人出ちうあるも二ちうの西も
ちうやと云ちう只一ちうはざちうちうちうちう
ちうりの名　青ニも名ニ名ちうも外ニも塩
桐　秋し只一指桐と春ちうて一ちう外
桐つばちうちうちう桐ちう桐ちう桐の彩ち
乃秋西色　捷狐ニも名ちうあ和れちうて
今ちうちうちうちうちうちうちうもれちうと
ちうあちうばり名ちう　ちうあちうちう月の小紙
と仲ちうちうちうちうちうちうもう
○ゆ
ゆちうちう　和紙ちうちうちうちうちうちうれ

[illegible]

ゆかりの人、外紙に歌乃書ハ七月頃く同じ
書ハ、紙に歌乃書ハ六月の書
[illegible]の書かれ[illegible]傘に書ハ内一八
[illegible]の書ハ[illegible]
初書も交じり万葉かゝれ[illegible]
書にみぞれ[illegible]ふるゝ[illegible]七月を
書れ[illegible]初ふるゝ[illegible]
[illegible]乃字ハ、[illegible]傘に[illegible]
[illegible]一せ[illegible]葉ふ[illegible]
[illegible]二ハ[illegible]
[illegible]ハ七月[illegible]
[illegible]一[illegible]
[illegible]二[illegible]
[illegible]二[illegible]
[illegible]二

美濃ふるさとのべ　ものがたり　二句
ゆげけに　二句
秋　秋らおもはどーこへ　秋いこ
美　美こ　文句　こ　こ　秋　れ　み　ど
ふくは　こよ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
美ふ　秋ふ　秋ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
仕　こ　ふ　句　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
つ　ふ　ひ　れ　く　秋　ふ　ふ　ふ　ふ
美に　ふ　ね　ば　め　こ　ひ　ひ　ひ　ひ
二句　こ　こ　ふ　ば　ば　ば　ば　ば　ば
美の世　秋　ふ　ふ　ど　ど　ど　ど　ど　ど
といで　句　秋　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
美に　国　孫　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ゆめく　秋　こ　ど　ど　ど　ど　ど　ど　ど
行に　四　後　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
り　未　一　め　め　め　め　め　め　め
ゆ　こ　ま　よ　秋　秋　秋　秋　秋　秋
ゆ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ

秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋
秋山　山　秋　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
秋　秋に　こ　乃　こ　こ　こ　こ　こ　こ
湯　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ
湯　秋　後　邪　秋　こ　こ　こ　こ　こ
ま　こ　山　名　不　ど　ど　ど　ど　ど　ど
又　こ　川　ハ　肥　後　の　名　不　ど　ど
○め
名　不　と　く　二句　あり
目　人　の　目　に　こ　て　こ　ふ　ろ　れ　と　秋
目　に　生　秋　の　め　面　秋　秋　あ　こ　秋　め　秋　秋　の　め
さ　い　の　う　す　の　め　美　ど　ん　の　め　か　や　う
の　の　い　二　句　こ　こ　傘　に　人　の　目　に　七　句
こ　こ　る　秋　山　秋　さ　い　め　ま　ハ　面　に　て
目　ま　ま　こ　二　句　さ　こ　ふ
め　く　く　に　目　面　秋　秋　傘　の　こ　ま　ま　ハ　ろ　の　こ　秋
め　こ　こ　こ　こ　人　傘　こ　人　傘　こ　秋
眼　こ　に　殺　こ　七　句　秋
め　く　こ　こ　秋　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

帝　はのそこ二百しゐ　ハ七百疋
勅の　祇そ　三本ぞ　はのそこ二百し
祇そこ　祇七百さしふ
はの幸　祇乃そ二百さしふ
はの殺　みなをし　祇紙し
はのそこ　祇紙あり
そてぐう　帯のくりし　はのそこ疋
己の日の殺　みなをし　祇紙あり
己乃幸　ハ祇とくく　そくくべー
みつさあ　はのじ　ハ二百疋
そ呉二　名ハ三　百疋乃そ二名そ
疋そ面とりくく　みつさ　百疋二組　乃そ二名
祇そ面とりくく　みつさ　百疋二組　乃そ二名
あり　祇紙三百疋　乃そ二百疋
ハ名ハ　そくべー　そつく　ハ裏ゆるべー
二百疋の　そ　乃くそ　そなゆ　れそ　ハ
ハ皇　ハ皇　そ　乃そ二乃　ハ皇
乃そ二乃　ハ皇
そこ　そやつ　ハ七日　祇も七日し
みつ面の三　百疋　はのそこ二百疋
祇百　疋　祇紙　はのそこ二百疋

はのそこ　はのそこ　はの　はのそこ　はの　はの
姫　姫　あり　ハ二百　姫の　百七日
祇　呉二　名ハ三
はのそこ　名ハ　祇　面　疋　名
峯　呉二　名ハ三　傘二　峯三　門ハ
名ハ　玉生　患　名ハ　人の　ふる
峯　ゆれ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　人の　ふる
そ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
三月の　ふる　飛　ふる　祇　祇
三月の　ふる　飛　ふる　祇　祇
傘二三月　ハ日　祇付　そ　ら　ー　か　ど
傘二三月　ハ日　祇付　そ　ら　ー　か　ど
水よ　みな　ふる　ふる　そ　べー
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
水名　水の　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる

汀氏一名百三　みざらひ　みの　三百文

傘ニ汀ニ　名百三十二

柳氏一法の柳又一名　傘ニ垂れ二

此ものの名付ること　云流るゝ　柳を

なぞらへ　柳のうち　柳なれば　垂よ

付て　名づけ　柳　柳なれば　柳なれば　三百文

乃三反　法　法　柳　乃三百文　傘ニ

乃ニ　乃　乃　乃

○
清水ちく　傘二清水不詳
水面代清水　水のよきこと
付白ぐろう　清水あるはい
三百姫清　くもこ百さろ
白神絵　三ゐ縄神　紙あり
白八字八　面に一つ　ちくと云
へくゝ　白紙に　七百姫
ちく宮　ちい形と　恵奇　ちい
ちのの　ちいの　ちの
ちのの　ちの　ちの
ちのの　ちの　ちの
ちのの　ち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

師匠 [illegible]

付さるべたるべき人倫を生徒とす
きてのうかさんのもの

○ 弟

稽一 張ぬく [illegible]
やわらかなどもゆうあり [illegible]
りさせてうべ [illegible]
張る 生まれぬ [illegible]
あび 海の字なるの字 [illegible]
[illegible]
あび 神の [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

日に月をとれば月うら部と為身日
出月日をどこの月をこの月をこの
日に月新月の月をどこの三百さよ
月乃日にいくつ二百為日次の日とは
蓋乃日さひとさ日ぞうの月日をど
じをれも　日にさはさよいこの
付て色雲傘二時の今日をこ
蓋のようにて八月に三百さよ
月時　神祇乃りに　ふるべ
月乃さとに門とさと　恐れさと
あうとゆ出も三百さよ
ひまりの代　人倫はわ　ど月八
ぶりこぶりに人倫なり
矣高　ひんがうたと　陸奥
ひとへ地　一条字に三百さよ
月ごと一日に一日もも　恐れも月に但
つぐけやうよるべ　傘月こと
とと立　今一又　蜘蛛と蓋ふよ
こそ　こと　字も乃りも蓋も
別乃ぬ乃れ　ぬ　ぬ　前のごく　蟬ふ
れ　月月雷雨　雷月　神仏
光　ふうこうこうこうこう月里二花
八ごうりこべ　傘月里二花
雷二光陰三又の　このあくも
こうこう蓋　一ひと三ひとと
ごうこうの月代　ふ月　ふ月
変花　尺蓋　傘二変ごうこう
尺蓋ふ　ごうこうこう尺人蓋
一村　一時蓋ふ　一条字八人傘二
一村長ふ　ふ　行の一村ふ
蓋　又一村と蓋　今ごべ
久ごさ　久の字ふも　蓋の字ふも
字天ぐ　ごとこの二百こ傘二雲
辺一所ふ二百の地こ久
ごべ久の字ふ　ごうこうこれば
こと云何ふ　ふとも　ごこうこ
ふ久ごこ云ふ　ごうこうこう
蓋代字　字辺一所ふ一度二百地
火八　孤　雲の火八七百地傘火八

四一の巻ゆめのこそてらべ　孤竹ゆうた
いえのかし　焼い新式　一度二句あり
別ゆうと　ゆうと　ゆうと　ゆうと
ゆうと　ゆうと　ゆうと　ゆうと
ゆうと　ゆうと　ゆうと　ゆうと

ひさぐ　秋し　五こ　三こ　白粉　ろくみづ
ひざ　秋し　編れ　あふ　ゆ　もろ　ぬこ
うへ　地ゆ　二百　五　二こ　の　ま　板の子
よこ　二百　拾　ゆ　ろく　ゆ　ゆ　ゆ　秋の田
ゆ　て　ひさ　ろ　ろ　ゆ　ゆ

○も

和歌一　ろ　の　ゆ　和歌一　梅　板ゆ　一
りろ　ひ　ろ　ろ　ひ　ゆ　ひ　ろ　ひ　ろ　の　梅
と　ろ　ひ　の　川　の　ゆ　ひ　へ　地　ゆ　わ
ら　ど　ゆ　和歌　ゆ　ひ　わ　ろ　ろ　ろ
和歌　ろ　ろ　ひ　て　百　梅　ゆ　ろ　重　ひ　ろ
ゆ　ひ　ろ　傘　ひ　ろ　ゆ　ひ　ろ　ひ　ゆ　ひ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ひ　ひ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

而変一而のそみやこ
りたくふ一武蔵 武蔵 武蔵 武蔵の
円にあぐらかく又一こ
りろうさくかく国と又ろべ
山かく庵表 表 沃 約ぐく 茅ゆく
今一ろべ一国ろく ね 竜のまいわ
一つろべーかく国と西こうの

○せ

仙人 人偏ハ 仙ど 山おく 山おく 仙ど 山おく
二ろ人のそなこ三ろ切り
蝶 表 一日ろく ろわと 傘 二ろぐ
ろ二ハ 表せこと ろべ せろく
ろべーろ切せろくと ろいろべ ろべ
国 表 二名不 三人国の 空な 裏ろぐ
傘 空 空の円 ろん と 茅ぐ ろて ろ
べーせろと 汁ハ 居不 裏 ろわ ぐど
実 二 升せろ七ろ せろく と云て 傘 二
水とせく気 せく 国のせく ろ
とせくかの円 ろ 升せろ ろ 円ろ
知ん 仙 仙 円 ろ ろ 空 金 山 天空の 名 ろ 国の ろ ろ
空 雑ろ 山 名 空 金 ろ と いづ 仙 ろ ま

○す

住吉の祢 名也 名 ろ ろ こ 傘 住
吉の祢と ろ ろ ろ 居不 ろ ぐ
名祢 姫 名不 ろ 玄 神 新式の 式 述
未の松 名不 ろ 植 松 ろ ろ の 松と
ぐ ろ ろ も 山 ろ ろ 国 列の 居 ろ
筑 筑の 宗 雑ろ 一 年の円 七十 又 ろ 波
枝一ハの枝又一ろべ 傘 二 枝の 名
枝 生 名 ろ や 枝 ろの円 三 ろ ろ
枝の 宗 ハ 植 ろ 姫 枝 枝 村 居不 ろ 植
ろ ろ こ ま ぐ き ろ 宗 ハ ろ 支 ろ 一 林 ろ
篭 ろ ろ ハ 一 篭 一 篭 一 傘 一 傘 ろ 円
ハ 桃 ろ 篭 一 篭 篭 篭 ろ と ぶ れ ろ す
又 篭 中 ぐ ろ 円 ろ 円 ろ 一 ろ ろ ろ
国 く 桃 七 ろ 植 傘 ろ 傘 ろ 例 ろ 居不 ろ
青 姫 ろ ろ ろ 傘 ろ 傘 只 一 表 ろ 表 ろ 表 表
表 ろ 表 ろ ろ ろ ろ ろ の 円 ろ 山 ろ 表
表代 表 表 ろ ぐ く 今 一 ろ と ろ ろ り。

[illegible]
栖只二ともに後の字二百五十二番不二百
ともこうふ 後の字三百五十二番 [illegible]
ともの名ふ 後の字五百五十二番
栖と後番とは面と後へ
要條 ともこ等の要條ところが多
かりて宮もろべし まもこ
翠嶽堂乃山ぐ〳〵 今一ろべ
ふ山ぐ〳〵 [illegible]
條一きに 後一きに三百
後一きに 三百
ふひ中ゝ七百後
條きに 後番の
條只一尾 [illegible]
二ぐろもろべし 傘一番二番
ゆこ宮 [illegible]
ともも 神祇 [illegible]
なけの [illegible]
要條の神 迷宮
ともぐ〳〵 [illegible]
未乃字三百 [illegible]
ともの 下聖 [illegible]
ともく [illegible]
後の字三百
ともく [illegible]
ともく [illegible]
つる面 [illegible]
ともろに 後の字三百
ともく [illegible]
炭 [illegible]
ぐろ山 [illegible]
ともろ世 [illegible]
炭やに 人 [illegible]
炭一ともこ [illegible]
ろそ一 [illegible]
後ぐろ [illegible]
ある [illegible]
後神 後 [illegible]
神とろ [illegible]
乃神ふ [illegible]
ともふ [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

庭苔　橘

[illegible]

秋海棠　夜回

[illegible]

[illegible]　夜回

[illegible]

[illegible]　蓮

[illegible]

[illegible]　蓮のく

[illegible]　同

[illegible]

[illegible]

[illegible]　同

[illegible]

[illegible]

[illegible]　あや先

[illegible]

[illegible]　ゆり

[illegible]

[illegible]

[illegible]　ほうん

[illegible]

[illegible]　同　稿本雑

[illegible]

[illegible]　まこも

[illegible]

[illegible]　大豆

[illegible]

[illegible]　小豆

[illegible]

[illegible]　松風

[illegible]

[illegible]　扇

[illegible]

[illegible]　同

[illegible]

風ふく草　扇

[illegible]　萩

初月草　同

[illegible]　同

[illegible]　同

[illegible]　麻

[illegible]　落

[illegible]　花

[illegible]

水の面に社[illegible]　こと

松　同

[illegible]

庭[illegible]草　同

[illegible]

[illegible]草　同

[illegible]

夕[illegible]草　同

[illegible]　女郎花

形見草　菊

[illegible]

百[illegible]草　同

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　竹の葉

河むき草

[illegible]

夕むき草　同

[illegible]

玉[illegible]草　菊

[illegible]

秋[illegible]草

[illegible]

初[illegible]草　[illegible]梅

[illegible]

[illegible]

[illegible]

歌

年毎に[illegible]

六花　雪

[illegible]

[illegible]　心

[illegible]

[illegible]　心

[illegible]

[illegible]　心

てさすがに面ぞうてい面ぞうきゝふ自然ものゝ
これかの人
一度想乃俳諧はいかゝ愛とうの富
せざるの古来乃俳人の有り帝に門
えふふやこゝろふかよりて有れ
よんさくゝとゝきゝふのたぐひさもあ
らんう俳諧はるむまん融うは
是一奇よ面ぞうきゝふ右俳之七句
句り七句ふふ句ふ句句句わ句句
るりあり句かりてそ七句乃句も
三句句り一句句句の句りゝり
ひとりふ句乃句句ゝかわとうて
うゝ七句乃句ゝ句句句ゝ三句ま
ゆゝ二句乃句ゝ句句ゝ句ゝ句
雅宣あるべしるゝ句ゝ句ゝ句
らゝくゝゝるべし

元禄四辛未仲春高野
武江 書林 酒屋義兵衛板行

千秋万歳楽

寶暦四歳甲戌月吉

大業和合楽

地業自立楽

求之